

# だざいふてんまぐう えま 太宰府天満宮の絵馬

所在地/太宰府市  
指定/有形文化財



太宰府天満宮絵馬堂



太宰府天満宮蔵絵馬「西都奇観」の書  
ならびに孔雀図（奥村玉蘭筆）  
画像提供 太宰府市公文書館

絵馬とは、神様へのささげものとして大きな板に描いた絵のことです。本物の馬を奉納する代わりに板に馬の絵を描いたものがはじまりであるため「絵馬」と呼ばれますが、馬以外にも歴史、神話、演劇を題材にした絵も多く描かれました。神社に奉納された絵馬の多くは、人々に見やすい高いところにかざられ、自由に見ることができました。絵馬堂という絵馬をかざるための

建物を造っている神社もあって、今でいう美術館のような役割もありました。

太宰府天満宮にはたくさんの絵馬が残っており、古くは今から約400年前の江戸時代にまでさかのぼり、太宰府で活躍していた画家である斎藤秋圃や吉嗣家、萱島家などの名前が書かれているものも見られます。

これらの絵馬は、江戸時代に『筑前名所図会』という本を書いた奥村玉蘭という人物によって建てられた絵馬堂にかけられています。保存のために場所を移している絵馬もありますが、今もなおたくさんの絵馬がかざられて

いるのを見ることができます。絵馬が多く残っているということは、太宰府天満宮が昔からあつい信仰を集めてきたあかしであり、また大型の絵馬が多く、立派な絵馬堂まである神社は福岡県内でもあまりありません。

## 【もっとくわしく調べたい】

- 太宰府天満宮文化研究所 福岡県太宰府市宰府4丁目7-1 TEL 092-922-8225
- 九州歴史資料館 福岡県小郡市三沢5208-3 TEL 0942-75-9501

## 【太宰府天満宮絵馬堂に行ってみよう】

- 西鉄太宰府駅から徒歩約5分
- 九州自動車道太宰府インターチェンジから車で約15分